

教育委員会事務の点検及び評価報告書

－令和3年度分－

令和4年8月

つがる市教育委員会

報告書目次

教育委員会教育目標	1
教育委員会委員構成	1
教育委員会機構図	2
令和3年度教育委員会審議状況	3
令和3年度総合教育会議開催状況	8
令和3年度教育委員会議以外の活動報告	9
教育委員会事務の点検及び評価について	11
施策別重点項目事務事業一覧	12
重点項目別の総合点検・評価	
安心・安全な教育環境の整備	14
確かな学力	22
豊かなところと健やかな体	25
力量のある教職員	27
信頼される学校	28
社会教育振興	29
社会スポーツ振興	33
文化財・伝統文化の保護活用	34
教育委員会事務の点検・評価に対する意見	36

教育委員会教育目標

つがる市教育委員会では、市施策の基本目標の一つである「個性と郷土を大切に
する心豊かな人づくり」の具現化を目指し、青森県教育委員会の教育目標や「つがる市
総合計画」などの趣旨を踏まえ、すべての市民が生涯を通じて様々な学習活動に参加
できる、生涯学習社会の実現に向けて、教育目標を設定している。

さらに、教育目標を達成するための3項目の具体的方針を定め、当面の教育課題や
今後の方向を明らかにする。

1 知・徳・体を育む教育の推進

2 生涯学習とスポーツの振興

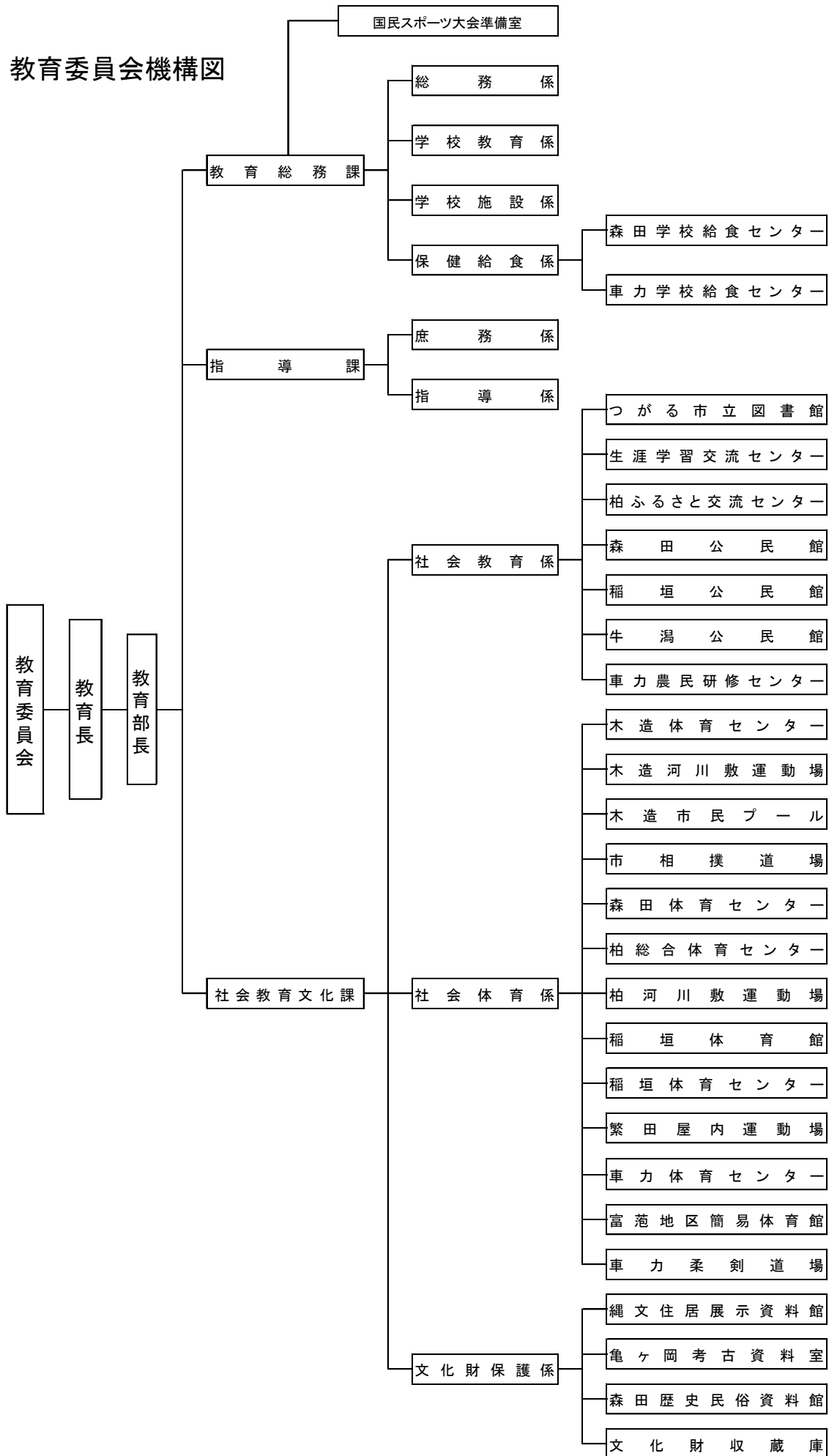
3 文化の薫り高いまちづくり

教育委員会委員構成

(令和3年4月現在)

区 分	氏 名	任 期
教 育 長	葛 西 岨 輔	令和 2年3月31日 ～ 令和5年3月30日
委 員 (職務代理者)	成 田 悦 雄	令和 2年3月31日 ～ 令和6年3月30日
委 員	鳳 至 英 俊	平成31年3月31日 ～ 令和5年3月30日
委 員	平 田 昌 子	令和 3年3月31日 ～ 令和7年3月30日
委 員	帯 川 圭 太	平成31年3月31日 ～ 令和5年3月30日
委 員	佐 藤 勢 津 子	令和 元年12月13日 ～ 令和4年3月30日

教育委員会機構図



令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
4月 定例会	4月23日 (金) 13:30～	松の館 B会議室	報告	教育長報告
				臨時代理した事項等
			報告第6号	令和2年度一般会計3月補正予算（3月31日専決）のうち教育関係予算について
			報告第7号	つがる市地域学校協働活動推進員の委嘱について
			議案第22号	つがる市教育支援委員会委員の委嘱について
			議案第23号	つがる市通学路安全推進会議委員の委嘱について
			議案第24号	つがる市立小中学校学校運営協議会委員の委嘱について
			議案第25号	つがる市総合体育館運営検討委員会委員の委嘱について
			議案第26号	つがる市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
			議案第27号	つがる市社会教育委員の委嘱について
その他	各課連絡			
5月 定例会	5月27日 (木) 14:30～	松の館 B会議室	報告	教育長報告
				臨時代理した事項等
			報告第8号	令和3年度一般会計補正予算（4月27日専決処分）について
			報告第9号	つがる市実用英語検定受験料補助交付要綱の制定について
			議案第28号	令和3年度一般会計6月補正予算（第3号）のうち教育委員会関係予算について
			議案第29号	つがる市いじめ不登校等問題対策委員会委員の委嘱について
			議案第30号	つがる市立図書館協議会委員の委嘱について
			議案第31号	つがる市社会教育委員の委嘱について
議案第32号	つがる市立学校給食運営審議会委員の委嘱について			
その他	各課連絡			

令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
6月 定例会	6月25日 (金) 13:30～	松の館 B会議室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第10号 県費負担教職員の採用について
				報告第11号 財産の取得の件（スクールバス購入3台）
			議案第33号	つがる市教育委員会事務の点検及び評価アドバイザーの委嘱について
そ の 他	各課連絡			
7月 定例会	7月27日 (火) 10:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
			議案第34号	令和3年度つがる市教育委員会学校訪問実施要項案について
			議案第35号	令和4年度使用中学校用教科用図書（歴史）の採択について
			議案第36号	つがる市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令案
			協 議	協議第2号 令和2年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（案）について
			そ の 他	各課連絡
8月 定例会	8月27日 (金) 13:30～	旧制木造 中学校 講 堂	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第12号 県費負担教職員の採用について
				報告第13号 県費負担教職員の義務違反等に関する措置の状況について
				報告第14号 つがる市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則
				報告第15号 つがる市教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する要綱
			議案第37号	令和3年度つがる市一般会計補正予算（第4号）のうち教育委員会関係予算について
			議案第38号	つがる市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則案
			議案第39号	つがる市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示案
			議案第40号	教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和2年度分）について
			そ の 他	各課連絡

令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
9月 定例会	9月27日 (月) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第16号 令和3年度つがる市一般会計補正予算 (9月追加補正)について
			議案第41号	つがる市木造体育センターの指定管理者制度の導入 について
			議案第42号	つがる市スポーツ推進委員の委嘱について
			議案第43号	第2期つがる市教育振興基本計画(案)について
			そ の 他	各課連絡
10月 定例会	10月28日 (木) 13:25～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第17号 令和3年度前期事業報告について
				報告第18号 県費負担教職員の採用について
			議案第44号	つがる市木造体育センターの指定管理者の選定につ いて
			議案第45号	つがる市立小学校及び中学校の管理運営に関する規 則の一部を改正する規則案
			議案第46号	つがる市立小学校及び中学校の教育職員の業務量の 適切な管理等に関する規則案
そ の 他	各課連絡			
11月 定例会	11月26日 (金) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第19号 令和3年度つがる市教育委員会学校訪 問報告書
			議案第47号	令和3年度つがる市一般会計補正予算(第8号)の うち教育委員会関係予算について
			議案第48号	つがる市文化賞選考審議会委員の委嘱について
			議案第49号	つがる市立小学校及び中学校における教諭等及び事 務職員の標準的な職務の内容及びその遂行に関する 要綱を制定する訓令案
			議案第50号	つがる市小中一貫教育実施要綱を制定する訓令案
			議案第51号	令和4年度小中学校夏季休業中の学校閉庁日につい て
そ の 他	各課連絡			

令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
12月 定例会	12月24日 (金) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
			議案第52号	つがる市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示案
			議案第53号	つがる市学校における働き方改革プランの策定について
			議案第54号	つがる市食物アレルギー対応管理マニュアルに係る答申について
			そ の 他	各課連絡
1月 定例会	1月27日 (木) 13:25～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
			議案第1号	令和3年度つがる市文化賞受賞者の決定について
			議案第2号	令和3年度つがる市スポーツ賞受賞者の決定について
			議案第3号	つがる市体育施設総合活用計画検討委員会要綱を制定する訓令案
			議案第4号	つがる市体育施設総合活用計画検討委員会委員の委嘱について
			そ の 他	各課連絡

令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
2月 定例会	2月16日 (水) 13:30～	松の館 B会議室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第1号 令和3年度学校評価のまとめ
			議案第5号	令和3年度つがる市一般会計補正予算（第14号）のうち教育委員会関係予算について
			議案第6号	令和4年度つがる市一般会計予算のうち教育委員会関係予算について
			議案第7号	令和4年度つがる市学校教育指導の方針と重点について
			議案第8号	つがる市附属機関設置条例及びつがる市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
			議案第9号	つがる市運動施設条例の一部を改正する条例案について
			議案第10号	つがる市総合体育館条例案について
			議案第11号	つがる市教育委員会会議規則の一部を改正する規則案について
			議案第12号	つがる市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則案について
			議案第13号	つがる市教育委員会事務局規則の一部を改正する規則案について
			議案第14号	つがる市いじめ不登校等問題対策委員会規則及びつがる市いじめ重大事態発生時対策協議会規則の一部を改正する規則案について
			議案第15号	令和4年度つがる市立小・中学校教職員（管理職）の人事について（非公開）
			協 議	協議第1号 つがる市の教育（令和4年度）について
そ の 他	各課連絡			

令和3年度教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
3月 定例会	3月25日 (金) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告
				臨時代理した事項等
				報告第2号 令和3年度事業総括について
				報告第3号 令和4年度つがる市学校教育活動支援員の人事について
				報告第4号 県費負担教職員の義務違反等に関する措置の状況について
				報告第5号 令和4年度県費負担教職員の人事について
			議案第16号	つがる市教育相談員の任用について
			議案第17号	つがる市特別支援教育相談員の任用について
			議案第18号	つがる市小学校外国語活動講師の任用について
			議案第19号	つがる市特別支援教育アドバイザーの任用について
			議案第20号	つがる市ICT支援員の任用について
			議案第21号	つがる市スポーツ推進委員の委嘱について
			議案第22号	史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存整備検討委員会要綱案について
			議案第23号	史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存整備検討委員の委嘱について
			議案第24号	つがる市縄文遺跡案内人の設置等に関する要綱の一部を改正する告示案について
			議案第25号	つがる市実用英語検定受験料補助金交付要綱の一部を改正する告示案について
			議案第26号	つがる市交流籍制度実施要領について
			議案第27号	つがる市地域学校協働活動推進員の委嘱について
			議案第28号	つがる市の教育（令和4年度）について
			議案第29号	令和4年度つがる市教育委員会職員の人事異動について
そ の 他	各課連絡			
3月 臨時会	3月31日 (木) 10:30～	松の館 研修室	組 織 会	議席の指定
				教育長職務代理者の指名
総合 教育 会議	10月19日 (火) 15:30～	松の館 視聴覚室	議題1	つがる市教育施策の大綱（案）
			議題2	通級による指導体制の整備について

令和3年度教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校訪問

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条の規定に基づき、つがる市管内学校における教育活動の管理・運営全般の現状を把握するため、管内小学校7校、中学校5校の学校訪問を実施した。

<訪問の視点>

1. 市教育委員会策定「つがる市の教育」の具体化と実践状況を把握し、その推進を図ること。
2. 各学校の実情に即した諸課題の解決に資すること。
3. 授業参観とその後の意見交換を通して、教職員一人ひとりの教科指導及び生徒指導面の資質向上を図ること。

訪 問 日	訪問校・時間時間帯		備 考
	9:30～11:30	13:30～15:30	
11月 2日 (火)	車力小学校	—	
11月 4日 (木)	向陽小学校	稲垣小学校	
11月 8日 (月)	穂波小学校	森田小学校	
11月 9日 (火)	柏 小学校	瑞穂小学校	
11月16日 (火)	木造中学校	—	
11月17日 (水)	森田中学校	稲垣中学校	
11月18日 (木)	車力中学校	—	
11月19日 (金)	柏 中学校	—	

<訪問の内容>

- ①学校長及び教頭等からの学校経営、教育課題等の概要説明
 - ア 学校経営・運営方針について
 - イ 学校の課題と問題解決のための対策について
 - ウ 学力の状況及び学力向上に係る取組み状況について
 - エ 児童・生徒指導に係る取組み状況について
- ②授業参観及び校内巡回
- ③意見交換

(2) 教育関係会議・研修会への教育長及び教育委員の出席等について

新型コロナウイルスの影響により多くの会議が中止となり、書面協議での対応となりました。

開催日	会議・研修名	開催場所等
4月9日(金)	青森県都市教育長協議会第1回定例会	中止(書面協議)
4月12日(月)	管内教育長会議	五所川原市
4月14日(水)	第1回市町村教育委員会教育長会議	青森市
4月21日(水)	西つがる教育委員会連絡協議会総会	旧制木造 中学校講堂
4月28日(水)	青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会	中止(書面協議)
5月13日(木)	青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会定期総会	中止(書面協議)
5月19日(水)	東北都市教育長協議会定期総会	中止(書面協議)
5月26日(水)	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会	中止(書面協議)
10月7日(木)	青森県都市教育長協議会第2回定例会	中止(書面協議)
10月22日(金)	西つがる教育委員会連絡協議会研修会	中止
11月10日(水)	第2回市町村教育委員会教育長会議	青森市
3月23日(水)	西つがる教育委員会連絡協議会役員会	中止(書面協議)

(3) 各種行事、大会等への出席等について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の行事が中止にはなったが、感染対策を施した上で次の行事・大会に参加しました。

開催日	行事・大会名
4月2日(金)	つがる市教職員合同着任式(中止)
5月20日(木)	長寿大学開校式(午前の部、午後の部)
6月8日(火)	文部科学大臣表彰 つがる市立図書館の子どもの読書活動
7月1日(木)	第80回国民スポーツ大会つがる市準備委員会設立総会・第1回総会
7月29日(木)	つがる市立図書館開館5周年記念セレモニー
10月23日(土)	JOMON亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚まつり2021
10月30日(土)	第17回つがる市総合文化祭(31日まで)
11月22日(月)	北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録記念式典 オンライン
12月26日(日)	令和3年度つがる市成人式
2月12日(土)	つがる市文化賞・スポーツ賞授与式(中止)
2月26日(土)	JOMON亀ヶ岡文化フォーラム(中止)
3月20日(日)	JOMONつがる市世界遺産フォーラム2022(中止)

教育委員会事務の点検及び評価について

1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、効果・必要性・効率性等を自ら点検評価を行い、今後の取り組みの方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図っていく。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに市民にも公表することにより、説明責任を果たし信頼される教育行政を推進することを目的としている。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和3年度における教育委員会の活動や運営状況及び重点事業並びに主な事務事業を対象として実施した。

- 施策分野 3分野（①知・徳・体を育む教育の推進、②生涯学習とスポーツの振興、③文化の薫り高いまちづくり）
- 重点項目 8項目
- 主要事務事業 37件

3) 点検・評価の方法、構成

ア) 施策重点項目一覧に基づく主要事務事業について、各担当が自己評価を実施し、担当課長が総合的な評価を行い教育長に提出する。

イ) 教育長は、「事務の点検・評価アドバイザー（以下、「アドバイザー」という。）」を委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書（案）を作成する。

ウ) 作成された報告書（案）を教育委員会で審議し議決を求める。

《令和3年度教育委員会事務事業点検・評価》

- ・総合評価 S（期待以上） A（期待通り） B（概ね達成） C（改善必要）
 D（見直し必要）
- ・方向性 「拡充」「継続」「縮小」「廃止」
- ・評価理由を記述

4) 点検・評価の手順

ア) 令和4年度6月教育委員会定例会

令和4年度アドバイザーの委嘱承認

イ) 4名のアドバイザーの委嘱

ウ) アドバイザー会議【8月9日、25日】

点検項目、評価表、報告書（案）等について意見聴取

エ) 令和4年度8月教育委員会定例会

事務の点検及び評価報告書（案）について協議、審議のうえ議決

＜アドバイザー＞

中 畑 耕 一	教育相談員	再任
佐々木喜代子	〃	〃
三上 みつる	有識者	新任
盛 恒 博	〃	〃

施策別重点項目事務事業一覧

施策分野	重点項目	No.	主要事務事業	担当課	総合評価
安全・安心な教育環境の整備		1	学校施設の整備 ①小学校 ②中学校 ③新型コロナウイルス感染症対策費 ④学校施設等長寿命化計画策定業務委託料	教育総務課	A
		2	教育設備の充実 ①小学校 ②中学校	教育総務課	A
		3	学校用図書備品整備 ①学校図書整備額 ②整備状況（図書館蔵書冊数・図書標準達成率）	教育総務課	A
		4	就学援助費・特別支援教育就学奨励費 ①就学援助費受給者 ②特別支援教育就学奨励費受給者	教育総務課	A
		5	遠距離通学措置 ①スクールバス運行台数 ②スクールバス利用者数 ③スクールバス購入状況	教育総務課	A
		6	教育資金利子補給事業	教育総務課	B
		7	学級編制及び就学事務 ①学級編成 ②就学事務	教育総務課	A
		8	学校保健及び学校環境衛生事業 ①学校保健・衛生事業 ②新型コロナウイルス感染症対策事業	教育総務課	A
		9	児童生徒及び教職員健康管理事業	教育総務課	A
		10	日本スポーツ振興センター事業	教育総務課	B
		11	体育・文化振興費補助事業 ①夏季大会 ②東北夏季大会 ③全国大会 ④その他大会	教育総務課	B
		12	学校給食運営事業 ①学校給食事業	教育総務課	A
知・徳・体を育む教育の推進	確かな学力	13	スクールサポーター配置	教育総務課	A
		14	学校訪問 ①計画訪問Ⅰ ②計画訪問Ⅱ ③要請訪問 ④学校教育要覧・指導課だより	指導課	B
		15	国際化への対応 ①外国語指導助手（ALT）の派遣 ②小学校外国語活動講師の派遣 ③外国語指導助手等連絡協議会 ④English Camp at つがる地球村 ⑤実用英語検定受検料補助	指導課	B
		16	確かな学力をはぐくむ教材の提供 ①つがる市漢字・計算ドリルの活用 ②社会科副読本「わたしたちのつがる市」の活用 ③つがる市型郷土学副読本・DVDの活用	指導課	A
		17	学力向上対策会議等の開催 ①学力向上対策会議（校長） ②学力向上対策協議会（教頭） ③授業づくり研究協議会（研修主任） ④標準学力検査の実施	指導課	A
豊かな心と健やかな体		18	教育支援センターの運営 ①通所 ②来所相談・電話相談	指導課	A
		19	特別支援教育の充実 ①特別支援教育相談 ②教育支援委員会 ③知能検査研修会	指導課	A
		20	いじめ・不登校等への対応 ①いじめ・不登校等問題対策委員会 ②いじめ重大事態発生時対策協議会 ③教育相談員の派遣 ④いじめに関わるアンケート調査 ⑤児童生徒出席状況報告書	指導課	A
		21	市生活指導協議会への補助 ①生徒指導に関わる情報交換 ②第65回防犯野球・ソフトボール大会 ③会報「しんでん」の発行 ④善行児童・生徒褒賞の表彰	指導課	A

施策別重点項目事務事業一覧

施策分野	重点項目	No.	主要事務事業	担当課	総合評価	
	力量のある教職員	22	教職員研修 ①学校教育活動支援員研修会 ②危機管理研修会 ③授業改善研修会 ④幼保小連携研修会 ⑤児童・生徒指導要録の電子化に係る研修会 ⑥ICT教育研究協議会 ⑦教育相談員等研修会	指導課	B	
		23	教員の研修活動への支援 ①校内研修支援事業 ②市教育研究会への補助・支援 ③研究指定校への指導・支援	指導課	B	
	信頼される学校	24	各小中学校運営協議会	教育総務課	B	
		25	学校評価	指導課	B	
	生涯学習とスポーツの振興	社会教育振興	26	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成に関する事業 ①幼児、児童、生徒を持つ親を対象とした子育て支援事業 ②地域学校協働活動	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	B
27			青少年に関する事業 ①青少年活動の支援 ②地域のリーダーの育成	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	B	
28			成人一般に関する事業 ①市民講座・長寿大学 ②社会教育関係団体の育成 ③成人式	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	B	
29			図書館に関する事業 ①読書まつり ②郷土学習講座 ③農業支援講座	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	B	
30			公民館事業 ①各種講座・教室	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	C	
31			文化活動の振興 ①文化賞 ②地域人材の活用 ③市民文化祭の開催	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	B	
社会スポーツ振興		32	スポーツの振興 ①スポーツ賞顕彰 ②スポーツ団体と連携した各種大会 ③総合体育館建設整備 ④市体育協会への支援	社会教育文化課(社会教育スポーツ課)	A	
		33	国民スポーツ大会 ①各種会議 ②広報啓発事業 ③県準備委員会、競技団体との連絡調整	国民スポーツ大会準備室	B	
文化の薫り高いまちづくり		文化財・伝統文化の保護活用	34	埋蔵文化財保護・調査事業 ①開発計画に対応した試掘調査・協議 ②遺跡の発掘調査	社会教育文化課(文化財課)	B
			35	史跡整備事業 ①史跡田小屋野貝塚の公有化 ②史跡亀ヶ岡石器時代遺跡の内容確認調査 ③史跡関連整備	社会教育文化課(文化財課)	A
			36	文化財調査、保護、活用事業 ①指定文化財等の調査・保存・活用 ②伝統芸能フェスタの開催等 ③小・中学生及び高校生を対象とした文化財を活用した出前講座の実施	社会教育文化課(文化財課)	B
	37		世界遺産登録推進事業 ①「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組の推進 ②業務委託による情報発信の強化 ③遺跡ボランティアガイド	社会教育文化課(文化財課)	A	

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進					
重点項目	安全・安心な教育環境の整備					
事業 No.	1	事業名	学校施設の整備		担当	教育総務課
予 算	当初	26,958 千円	決算	42,030 千円	執行率	155.91 %
事業目的	学校施設の老朽化への対応、学習形態の多様化への対応など、安全・安心して教育活動ができる施設の整備を図る。					
事業計画実績	<p>①小学校 7校</p> <p>(1)修繕 51件 (建築設備指摘事項修繕、漏水修繕等) <u>8,749,515円</u></p> <p>(2)工事請負費 <u>8,225,800円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏小学校 総合防災盤改修工事 3,740,000円 ・ 柏小学校 野球場バックネット改修工事 2,750,000円 ・ 穂波小学校 電気時計改修工事 1,155,000円※ ・ 穂波小学校 暖房ラインポンプ取替等工事 580,800円※ <p>②中学校 5校</p> <p>(1)修繕 33件 (建築設備指摘事項修繕、防風ネット修繕等) <u>6,002,793円</u></p> <p>(2)工事請負費 <u>3,696,000円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏中学校 トイレ洋式化改修工事 2,398,000円 ・ 木造中学校 貯水槽内水中ポンプ取替工事 1,298,000円※ <p>③新型コロナウイルス感染症対策費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン改修工事 (4校) <u>9,922,000円※</u> <p>④学校施設等長寿命化計画策定業務委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7小学校、5中学校、2給食センター <u>5,434,000円※</u> <p style="text-align: center;">「※」印は、補正予算対応を示す。</p>					
総合評価	A	成果課題	学校と連絡を密にし、当初の計画のほか、突発的な工事部分は補正予算で対応し、学校の維持管理に必要な予算の執行を滞りなく行うことができた。			
方向性	継続	成果課題	今後も長期計画に則り計画的な整備、修繕に取り組んでいきたい。			

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進				
重点項目	安全・安心な教育環境の整備				
事業 No.	2	事業名	教育設備の充実		担当 教育総務課
予 算	当初	27,719 千円	決算	27,609 千円	執行率 99.60 %
事業目的	学校運営に必要な備品を整備するとともに、授業に必要な備品を整備して適正な教育環境の充実を図る。				
事業実績	①小学校 10,724,399円 ・柏小学校 スクールセット購入(机・椅子35セット) 666,050円 ・瑞穂小学校 移動用ポータブルアンプ購入 220,000円 ・稲垣小学校 屋外放送セット購入 671,000円 ・森田小学校 拡大機購入 369,600円※ ・他31件(プリンタ、CDラジカセ、掃除機等) 1,236,895円 ・教材備品購入 1,204,831円 ・指導書、デジタル教科書、教師用教科書 2,311,323円 ・理科、算数教育設備 4,044,700円 ②中学校 16,884,463円 ・学校管理備品 19件(プリンタ、ワゴン等) 788,361円 ・教材備品購入 695,810円 ・指導書、デジタル教科書、教師用教科書 12,469,892円 ・理科、数学教育設備 2,930,400円 「※」印は、補正予算対応を示す。				
総合評価	A	成果課題	学校と連絡を密にし、当初の計画のほか、突発的な備品は補正予算で対応し、学校の教育環境に必要な予算の執行を滞りなく行うことができた。		
方向性	継続	成果課題	今後は、ICTの効果的な活用と学習の継続を確保するため、GIGAスクールの円滑な運用に向け、通信環境の充実を図っていく。		

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進				
重点項目	安全・安心な教育環境の整備				
事業 No.	3	事業名	学校用図書備品整備		担当 教育総務課
予 算	当初	1,653 千円	決算	1,648 千円	執行率 99.70 %
事業目的	学校図書を継続的に購入し、学校図書の充実を図る。				
事業実績	①学校図書整備額 ・小学校費1,073,548円 ・中学校費 574,207円 ②整備状況(図書館蔵書冊数・図書標準達成率) 向陽小(5,362冊・72%) 木造中(5,390冊・46%) 穂波小(6,196冊・103%) 森田中(3,772冊・62%) 瑞穂小(5,966冊・92%) 柏 中(5,717冊・67%) 森田小(9,173冊・152%) 稲垣中(7,999冊・119%) 柏 小(9,755冊・123%) 車力中(4,311冊・71%) 稲垣小(7,039冊・117%) 車力小(5,795冊・96%)				
総合評価	A	成果課題	学校図書館標準冊数の達成を目指し、充足率を考慮した図書整備費を各校に配分した。図書標準を達成している学校もあるが、古い本の廃棄や年間貸出冊数に着目しながら、今後も整備を推進する。		
方向性	継続	成果課題			

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進					
重点項目	安全・安心な教育環境の整備					
事業 No.	4	事業名	就学援助費・特別支援教育就学奨励費		担当	教育総務課
予 算	当初	38,870 千円	決算	32,657 千円	執行率	84.02 %
事業目的	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品等を給付し、就学の援助を図る。					
事業 計画 実績	<p>①就学援助費受給者 小学校：232名 中学校：183名</p> <p>支給内訳 (小)・学用品費等 2,923,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学用品費 786,000円 ・修学旅行費 980,000円 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 向陽小学校 200,000円 穂波小学校 120,000円 瑞穂小学校 120,000円 森田小学校 100,000円 柏小学校 160,000円 稲垣小学校 120,000円 車力小学校 140,000円 区域外 20,000円 ・給食費 11,222,490円 計 15,912,290円 <p>(中)・学用品費等 3,768,450円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学用品費 1,207,200円 ・修学旅行費 498,947円 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 柏中学校2学年 337,414円 ” 3学年 54,030円 車力中学校 107,503円 ・給食費 9,588,530円 計 15,063,127円 					
	<p>②特別支援教育就学奨励費受給者 小学校：29名 中学校：13名</p> <p>支給内訳 (小)・学用品費等 168,266円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学用品費 100,049円 ・校外活動費 1,870円 ・修学旅行費 75,530円 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 穂波小学校 21,580円 森田小学校 10,790円 柏小学校 10,790円 稲垣小学校 21,580円 車力小学校 10,790円 ・給食費 739,550円 計 1,085,265円 <p>(中)・学用品費等 133,300円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学用品費 144,950円 ・校外活動費 2,492円 ・修学旅行費 0円 ・給食費 315,534円 計 596,276円 					
総合 評価	A	成果 課題	経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者や特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、適正かつ公正に支給することができた。			
方向性	継続					

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進																																		
重点項目	安全・安心な教育環境の整備																																		
事業 No.	5	事業名	遠距離通学措置			担当	教育総務課																												
予 算	当初	333,880 千円		決算	315,238 千円		執行率	94.42 %																											
事業目的	地域の实情に即したスクールバスの運行により、児童生徒の通学の安全確保・利便性の向上を図る。																																		
事業実績	<p>①スクールバス運行台数</p> <table border="0"> <tr> <td>・小学校 24 台(市管車両 8 台+受託者車両 16 台)</td> <td>委託料</td> <td>153,379,373 円</td> </tr> <tr> <td>・中学校 14 台(市管車両 5 台+受託者車両 9 台)</td> <td></td> <td>83,787,704 円</td> </tr> </table> <p>②スクールバス利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 804 人(利用率 69%) ・中学校 364 人(利用率 51%) <p>③スクールバス購入状況</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>購入金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小学校 3 台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>森田地区用(平成 3 年式車両を更新)</td> <td>19,800,000 円</td> <td>(R2→R3 繰越明許)</td> </tr> <tr> <td>柏地区用(平成 6 年式車両を更新)</td> <td>22,781,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>稲垣地区用(平成 7 年式車両を更新)</td> <td>23,078,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中学校 1 台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柏地区用(平成 7 年式車両を更新)</td> <td>22,660,000 円</td> <td></td> </tr> </table>								・小学校 24 台(市管車両 8 台+受託者車両 16 台)	委託料	153,379,373 円	・中学校 14 台(市管車両 5 台+受託者車両 9 台)		83,787,704 円		購入金額		・小学校 3 台			森田地区用(平成 3 年式車両を更新)	19,800,000 円	(R2→R3 繰越明許)	柏地区用(平成 6 年式車両を更新)	22,781,000 円		稲垣地区用(平成 7 年式車両を更新)	23,078,000 円		・中学校 1 台			柏地区用(平成 7 年式車両を更新)	22,660,000 円	
・小学校 24 台(市管車両 8 台+受託者車両 16 台)	委託料	153,379,373 円																																	
・中学校 14 台(市管車両 5 台+受託者車両 9 台)		83,787,704 円																																	
	購入金額																																		
・小学校 3 台																																			
森田地区用(平成 3 年式車両を更新)	19,800,000 円	(R2→R3 繰越明許)																																	
柏地区用(平成 6 年式車両を更新)	22,781,000 円																																		
稲垣地区用(平成 7 年式車両を更新)	23,078,000 円																																		
・中学校 1 台																																			
柏地区用(平成 7 年式車両を更新)	22,660,000 円																																		
総合評価	A	成果課題	スクールバスの運行では必要に応じて停留所及びコースの見直しを図り、利便性が向上した。																																
方向性	継続	成果課題	また、経年劣化の著しいスクールバスを計画的に更新し、運行での安全確保を図った。																																

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進																																
重点項目	安全・安心な教育環境の整備																																
事業 No.	6	事業名	教育資金利子補給事業			担当	教育総務課																										
予 算	当初	250 千円		決算	166 千円		執行率	66.40 %																									
事業目的	大学に在学する者の保護者が教育資金に係る融資を受けた場合、融資額1人あたり 300 万円、融資利率 3 % 以内に該当する方に在学期間中の支払い利息を補給することにより経済的負担の軽減を図る。																																
事業実績	<p>補助対象者：5名（令和3年度新規補助者：2名）</p> <p>支給内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 貸付額</td> <td>299 万</td> <td>利率 2.50%</td> <td>補助額</td> <td>51,321 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 貸付額</td> <td>250 万</td> <td>利率 1.78%</td> <td>補助額</td> <td>44,496 円</td> </tr> <tr> <td>(3) 貸付額</td> <td>110 万</td> <td>利率 1.66%</td> <td>補助額</td> <td>18,882 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 貸付額</td> <td>170 万</td> <td>利率 1.80%</td> <td>補助額</td> <td>30,565 円</td> </tr> <tr> <td>(5) 貸付額</td> <td>100 万</td> <td>利率 3.00%</td> <td>補助額</td> <td>20,783 円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">補助額合計 166,047 円</p>								(1) 貸付額	299 万	利率 2.50%	補助額	51,321 円	(2) 貸付額	250 万	利率 1.78%	補助額	44,496 円	(3) 貸付額	110 万	利率 1.66%	補助額	18,882 円	(4) 貸付額	170 万	利率 1.80%	補助額	30,565 円	(5) 貸付額	100 万	利率 3.00%	補助額	20,783 円
(1) 貸付額	299 万	利率 2.50%	補助額	51,321 円																													
(2) 貸付額	250 万	利率 1.78%	補助額	44,496 円																													
(3) 貸付額	110 万	利率 1.66%	補助額	18,882 円																													
(4) 貸付額	170 万	利率 1.80%	補助額	30,565 円																													
(5) 貸付額	100 万	利率 3.00%	補助額	20,783 円																													
総合評価	B	成果課題	保護者の経済的負担の軽減を図り、もって、教育振興に寄与した。																														
方向性	継続	成果課題	課題として、以前に比べ申請する保護者が減少傾向にあることから、利用しやすいように制度の周知方法、運用の検証が必要である。																														

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進						
重点項目	安全・安心な教育環境の整備						
事業 No.	7	事業名	学級編制及び就学事務			担当	教育総務課
予算	当初	— 千円	決算	— 千円	執行率	— %	
事業目的	学級編制・就学事務の適正な事務を行う。						
事業実績	<p>①学級編制（令和3年5月1日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向陽小学校 通常9 知的1 情緒1 ・穂波小学校 通常6 知的1 情緒1 ・瑞穂小学校 通常6 知的1 情緒1 ・森田小学校 通常6 知的1 情緒1 ・柏小学校 通常10 知的1 情緒1 ・稲垣小学校 通常6 知的1 情緒1 ・車力小学校 通常6 知的1 情緒1 ・木造中学校 通常10 知的1 情緒1 肢体1 難聴1 ・森田中学校 通常3 情緒1 ・柏中学校 通常6 知的1 情緒1 ・稲垣中学校 通常3 知的1 情緒1 ・車力中学校 通常3 情緒1 <p>②就学事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学区就学許可 40名 ・他学区就学解除 1名 ・区域外就学許可 16名 ・区域外就学承諾 11名 ・転入 10名 ・転出 6名 						
総合評価	A	成果課題	学級編制基準、県の弾力化基準に基づき、適正に処理することができた。就学事務について、住民基本台帳に基に、つがる市教育委員会就学校変更に係る許可基準に照らし合わせながら、適正に処理することができた。				
方向性	継続						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進				
重点項目	安全・安心な教育環境の整備				
事業 No.	8	事業名	学校保健及び学校環境衛生事業		担当 教育総務課
予 算	当初	2,189 千円	決算	3,799 千円	執行率 173.55 %
事業目的	児童生徒及び教職員に係る保健・衛生管理の推進を図る。				
事業 計画 実績	①学校保健・衛生事業		<u>2,096,166円</u>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校飲料水水質検査手数料 151,800円 ・学校薬剤師報酬 440,000円 ・学校薬剤師費用弁償 17,960円 ・学校ダニ検査用キット 21,890円 ・自動体外式除細動器 (AED) 賃借料 1,374,516円 ・学校保健会補助金 90,000円 				
	②新型コロナウイルス感染症対策事業		<u>1,702,972円</u>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液 (17L) アルコクリンB75 340,200円※ ・液体ハンドソープ (4L詰替用) 471,086円※ ・手指消毒剤 891,686円※ 				
	「※」印は、補正予算対応を示す。				
総合 評価	A	成果 課題	①水質検査・ダニ検査は毎年継続的に行うものである。AEDについては、今年度新規で各小学校の体育館に設置した。学校保健会補助金は、児童・生徒の健康教育、保健管理に必要な補助金である。		
方向性	継続		②学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、必要な消耗品を購入し、安定的な学習活動が行える環境を整えることができた。		

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進					
重点項目	安全・安心な教育環境の整備					
事業 No.	9	事業名	児童生徒及び教職員健康管理事業		担当	教育総務課
予算	当初	9,593 千円	決算	8,527 千円	執行率	88.89 %
事業目的	定期健康診断等により、児童・生徒、教職員の健康管理を行う。					
事業実績	保健対策事業 定期健康診断及び就学時健康診断 学校医報酬 5,050,500円 職員時間外手当（教育総務課） 85,548円 健康診断に係る消耗品費 128,074円 印刷製本費（健康診断票等） 51,700円 就学時健康診断保護者宛通知切手代 18,800円 教職員ストレスチェック手数料 20,823円 オージオメータ検査手数料 247,500円 教職員健康診断委託料 1,293,655円 児童生徒諸検査委託料（心電図・貧血・尿） 1,124,640円 学校医送迎タクシー代 206,980円 定期健康診断用医療器材リース料 298,918円					
総合評価	A	成果課題	児童生徒、教職員の健康診断は必ず実施しなければならないもので、事業計画の項目一つ一つが必要不可欠であり、継続して実施するものである。健康診断を実施することにより、児童生徒への健康教育の推進を図ることができた。			
方向性	継続					

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進					
重点項目	安全・安心な教育環境の整備					
事業 No.	10	事業名	日本スポーツ振興センター事業		担当	教育総務課
予算	当初	1,824 千円	決算	1,750 千円	執行率	95.94 %
事業目的	学校管理下におけるケガ、災害等に備えて全児童生徒の加入を原則とする。					
事業実績	日本スポーツ振興センター負担金 ・小学校 935円×1,166人=1,090,210円 ・中学校 935円× 714人= 667,590円 ・要保護（55円） 1人= 55円 ・小中学校返還額 230円× 36人= △8,280円 ・要保護返還額 10円× 1人= △10円					
総合評価	B	成果課題	掛金935円（年額）のうち475円をつがる市教育委員会が負担し、（15円は免責の特約）460円は保護者負担。未だに市の子ども医療費助成制度を利用している方がみられ、市の財政負担を軽減させるべく、学校管理下におけるケガ等については、日本スポーツ振興センター災害共済給付金制度を利用するよう、引き続き保護者への周知を図る。			
方向性	継続					

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進																								
重点項目	安全・安心な教育環境の整備																								
事業 No.	11	事業名	体育・文化振興費補助事業			担当	教育総務課																		
予算	当初	2,500 千円		決算	1,162 千円		執行率	46.48 %																	
事業目的	小中学校に在籍する児童生徒の体育・文化活動の振興と保護者負担の軽減を図ること。																								
事業実績	<table border="0"> <tr> <td>①夏季大会</td> <td>③全国大会</td> </tr> <tr> <td>・木造中学校 38,000円</td> <td>・木造中学校 49,000円</td> </tr> <tr> <td>・森田中学校 2,000円</td> <td>・森田中学校 131,000円</td> </tr> <tr> <td>・柏中学校 6,000円</td> <td>・車力中学校 421,000円</td> </tr> <tr> <td>・稲垣中学校 8,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・車力中学校 115,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②東北夏季大会</td> <td>④その他大会</td> </tr> <tr> <td>・木造中学校 215,000円</td> <td>・森田中学校 26,000円 (合奏コンテスト)</td> </tr> <tr> <td>・車力中学校 135,000円</td> <td>・木造中学校 16,000円 (新人野球大会)</td> </tr> </table>							①夏季大会	③全国大会	・木造中学校 38,000円	・木造中学校 49,000円	・森田中学校 2,000円	・森田中学校 131,000円	・柏中学校 6,000円	・車力中学校 421,000円	・稲垣中学校 8,000円		・車力中学校 115,000円		②東北夏季大会	④その他大会	・木造中学校 215,000円	・森田中学校 26,000円 (合奏コンテスト)	・車力中学校 135,000円	・木造中学校 16,000円 (新人野球大会)
①夏季大会	③全国大会																								
・木造中学校 38,000円	・木造中学校 49,000円																								
・森田中学校 2,000円	・森田中学校 131,000円																								
・柏中学校 6,000円	・車力中学校 421,000円																								
・稲垣中学校 8,000円																									
・車力中学校 115,000円																									
②東北夏季大会	④その他大会																								
・木造中学校 215,000円	・森田中学校 26,000円 (合奏コンテスト)																								
・車力中学校 135,000円	・木造中学校 16,000円 (新人野球大会)																								
総合評価	B	成果課題	児童・生徒が各種大会に参加するために要する費用の一部を助成することで保護者負担の軽減を図る。																						
方向性	継続	成果課題	もって、健全育成とスポーツの振興に寄与するもの。																						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進																				
重点項目	安全・安心な教育環境の整備																				
事業 No.	12	事業名	学校給食運営事業			担当	教育総務課														
予算	当初	3,409 千円		決算	3,178 千円		執行率	93.22 %													
事業目的	児童生徒の食育と安心・安全な地元食材を提供する。 学校給食施設の衛生管理の徹底。																				
事業実績	<table border="0"> <tr> <td>①学校給食事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・教育委員会提供地元食材</td> <td>2,316,885円</td> </tr> <tr> <td>・給食費口座振替手数料</td> <td>166,637円</td> </tr> <tr> <td>・学校給食施設食品検査手数料</td> <td>136,400円</td> </tr> <tr> <td>・LPガス保安点検調査手数料</td> <td>252,450円</td> </tr> <tr> <td>・給食用廃油処分委託料</td> <td>275,000円</td> </tr> <tr> <td>・稲垣学校給食センター (閉鎖) 水道メーター使用料</td> <td>30,360円</td> </tr> </table>							①学校給食事業		・教育委員会提供地元食材	2,316,885円	・給食費口座振替手数料	166,637円	・学校給食施設食品検査手数料	136,400円	・LPガス保安点検調査手数料	252,450円	・給食用廃油処分委託料	275,000円	・稲垣学校給食センター (閉鎖) 水道メーター使用料	30,360円
①学校給食事業																					
・教育委員会提供地元食材	2,316,885円																				
・給食費口座振替手数料	166,637円																				
・学校給食施設食品検査手数料	136,400円																				
・LPガス保安点検調査手数料	252,450円																				
・給食用廃油処分委託料	275,000円																				
・稲垣学校給食センター (閉鎖) 水道メーター使用料	30,360円																				
総合評価	A	成果課題	地産地消の取組として提供する地元農産物として、つがるブランド8品目のうち、メロン、リンゴ、コメ、ネギ、ゴボウ、トマト、ナガイモのほか、つがる市産の豚肉、かぼちゃ等を使った献立は児童生徒からも好評を得ているところであり、本市基幹産業である農業への理解促進にも資することから、今後も事業継続していく。																		
方向性	継続	成果課題																			

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	確かな学力							
事業 No.	13	事業名	スクールサポーター配置			担当	教育総務課	
予 算	当初	60,789 千円		決算	55,598 千円		執行率	91.46 %
事業目的	特別な支援を必要とする児童、生徒の学習支援及び生活の補助や介助を行い、自立を図るための必要な支援を行う。							
事業実績	<p>特別な支援を要する児童、生徒の人数に応じ支援員を配置した。</p> <p>向陽小学校 3 人 柏 小学校 4 人 穂波小学校 2 人 稲垣小学校 2 人 瑞穂小学校 3 人 車力小学校 2 人 森田小学校 3 人</p> <p>小学校 19 人 (うち 1 人の任用期間 R 3. 4. 1 ~ R 3. 12. 31)</p> <p>木造中学校 4 人 森田中学校 2 人 柏 中学校 2 人 稲垣中学校 1 人 車力中学校 3 人 (うち 1 人英語指導員) 中学校 12 人</p> <p>合計 31 人</p>							
総合評価	A	成果課題	特別な支援を要する児童、生徒の指導補助員として、各小中学校へ 31 名を配置することができた。児童、生徒の障害が多様化し依然として増加傾向にあることから、各学校の必要性を見極めながら適正な配置に努め、対応していきたい。					
方向性	継続							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	確かな学力							
事業 No.	14	事業名	学校訪問			担当	指導課	
予 算	当初	311 千円		決算	279 千円		執行率	89.71 %
事業目的	つがる市教育委員会の学校教育指導の方針と重点を踏まえ、管内小・中学校の現状と教育課題を把握するとともに、その解明のために指導・助言を行い、教育水準の向上に資する。							
事業実績	① 計画訪問Ⅰ 管内全12校を訪問。学校運営、教育課程、学校の教育解明等について指導。 ② 計画訪問Ⅱ 新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。諸帳簿閲覧訪問として課員2名で管内全12校を訪問。 ③ 要請訪問 5校を訪問、学校側の要請内容について指導。 ④ 学校教育要覧・指導課だより ・市の学校教育指導の方針と重点等を掲載した学校教育要覧を全教員に配布し、計画訪問の際に説明を行った。(217,800円) ・指導課だよりを年2回発行し全教員に配布することで、情報提供を行った。(61,380円)							
総合評価	B	成果課題	計画訪問Ⅱは実施できなかったものの、計画訪問Ⅰでは概ね管内の全学級の授業を参観し、各授業の良い点を認めるとともに、改善点について指導することができた。今後も、各校の授業改善、管内教職員の資質向上につながる指導・助言に努めていきたい。					
方向性	継続							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	確かな学力							
事業 No.	15	事業名	国際化への対応			担当	指導課	
予 算	当初	14,675 千円		決算	13,314 千円		執行率	90.73 %
事業目的	我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進を図る。							
事業実績	① 外国語指導助手（ALT）の派遣（12,004,272円） 3名のALTを管内全小中学校に派遣。小学校のべ239回、中学校のべ323回。 ② 小学校外国語活動講師の派遣（847,200円） 英語が堪能な日本人講師2名を管内の小学校に派遣。小学校5校へのべ91回 ③ 外国語指導助手等連絡協議会（0円） 外国語指導助手及び小学校外国語活動講師の派遣計画を調整。 ④ English Camp at つがる地球村（188,000円） 感染拡大防止のため1日日程で実施。中学校3校から20名の生徒が参加。 ⑤ 実用英語検定受検料補助（275,000円） 1回の受検につき一律1,000円の受検料を補助。のべ275名の生徒に補助。							
総合評価	B	成果課題	ALT並びに小学校外国語活動講師の派遣により、管内の児童生徒のコミュニケーション能力を着実に育成することができたものの、学級数に比べALTの派遣日数が少ない学校がある等、指導体制に課題が残った。今後は、指導体制の強化を図るとともに、つがる市型小中一貫教育の三本柱の一つであるグローバル科を振興させ児童生徒の英語力を更に高めていきたい。					
方向性	拡充							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進						
重点項目	確かな学力						
事業 No.	16	事業名	確かな学力をはぐくむ教材の提供			担当	指導課
予 算	当初	1,737 千円	決算	1,737 千円	執行率	100.00 %	
事業目的	<p>① つがる市漢字・計算ドリルの活用 確かな学力の基礎を支える漢字・計算の力を向上させるため、管内の児童生徒に共通のドリルを配布し、小学校から中学校まで一貫した個に応じた指導に役立てる。</p> <p>② 社会科副読本「わたしたちのつがる市」の活用 自分たちの住んでいる身近な地域や市、県の社会的事象について、観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして、調べる学習や表現する学習ができるようにする。</p> <p>③ つがる市型郷土学副読本・DVDの活用 郷土に対する理解を深め、郷土を愛する心情を育てる授業実践に役立てる。</p>						
事業実績	<p>① つがる市漢字・計算ドリルの活用 (1,244,100円) 前年度までに印刷・製本したものを配布、活用。令和4・5年度活用分を改訂・印刷。</p> <p>② 社会科副読本「わたしたちのつがる市」の活用 (0円) 前年度までに印刷・製本したものを配布、活用。</p> <p>③ つがる市型郷土学副読本・DVDの活用 (492,800円) 各校から推薦された編集委員により副読本を編集。小学校3年生以上の全児童・生徒に配布。</p>						
総合評価	A	成果課題	漢字・計算ドリル並びに社会科副読本の活用により、児童生徒の基礎学力を高めることができた。また、郷土学副読本の編集・発行並びに漢字・計算ドリルの改訂・印刷を行うことができた。今後は、ICTの活用を視野に入れながら、事業の方向性を検討していきたい。				
方向性	継続						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進						
重点項目	確かな学力						
事業 No.	17	事業名	学力向上対策会議等の開催			担当	指導課
予 算	当初	3,118 千円	決算	3,118 千円	執行率	100.00 %	
事業目的	教育委員会と学校が連携して、管内児童生徒の学力向上を図る。						
事業実績	<p>① 学力向上対策会議 (0円) 校長対象・年3回実施</p> <p>② 学力向上対策協議会 (0円) 教頭対象・年2回実施</p> <p>③ 授業づくり研究協議会 (0円) 研修主任対象・年1回実施</p> <p>④ 標準学力検査の実施 ・小学校はCRTを実施。1・2年【国・算】、3・4年【国・社・算・理】 5・6年【国・社・算・理・英】 (1,703,900円) ・中学校はNRTを実施。1年【国・社・算・理・英・知能検査】、 2・3年【国・社・算・理・英】 (1,413,860円)</p>						
総合評価	A	成果課題	標準学力検査の実施により、各校が児童生徒の学力の実態を客観的にとらえ、的確な学力向上対策を講じることができた。また、全小中学校の校長・教頭・研修主任が学力向上について情報交換を行うことで、各校の対策を活性化することができた。今後は、小学校外国語科の評価を学習指導要領に基づいたものへと改善していきたい。				
方向性	継続						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進						
重点項目	豊かなところと健やかな体						
事業 No.	18	事業名	教育支援センターの運営			担当	指導課
予 算	当初	3,990 千円	決算	4,406 千円	執行率	110.43 %	
事業目的	<p>① 幼児児童生徒の成長過程で起こるさまざまな教育上の問題に関する教育相談を通して、支援を必要とする児童生徒本人、保護者、教員等の悩みの軽減や解決に向けた支援の充実を図る。</p> <p>② 不登校傾向及び不登校状態にある小・中学校児童生徒に対し、受容的・共感的な姿勢で相談・支援を行うことにより、集団適応力や生活意欲を高め、再登校や社会的な自立を援助する。</p>						
事業実績	<p>① 通所</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：不登校傾向及び不登校状態にある児童生徒（令和3年度9名） 開設時間：月～金曜日 午前9時～12時（水曜日はチャレンジ登校日） 指導員：教育相談員 内容：① 児童生徒や保護者との相談による悩みや不安感の軽減・解消 ② 遊び、読書などの自由活動を通じた活動意欲の向上 ③ スポーツやゲーム等を通じた集団適応力や生活意欲の向上 ④ 教科学習の援助 <p>② 来所相談・電話相談（令和3年度116件）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：児童生徒とその保護者、幼児の保護者、小中学校の教職員、幼稚園、こども園・保育園の教職員 相談時間：月～金曜日 午前9時～午後5時 相談員：教育相談員、指導課指導主事 						
総合評価	A	成果課題	つがる市では不登校児童生徒の再登校や社会的な自立を援助する機関がないため、それらの児童生徒や保護者にとって、本教育支援センターの役割は年々大きくなっている。今後は、関係校との連携を密にしながら通所支援の充実を図っていききたい。				
方向性	継続						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進						
重点項目	豊かなところと健やかな体						
事業 No.	19	事業名	特別支援教育の充実			担当	指導課
予 算	当初	380 千円	決算	309 千円	執行率	81.32 %	
事業目的	<p>発達障害を含む障害のある子供が、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を講じる。</p>						
事業実績	<p>① 特別支援教育相談（就学相談30件）</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談時間：水・金曜日 午後1時～5時 相談員：特別支援教育相談員、指導課指導主事 <p>② 教育支援委員会（令和3年度検査64名、状況報告書による審査49名）</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害のある幼児・児童・生徒の状態に応じた教育について審議し、適切な教育的措置について答申。 <p>③ 知能検査研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 知能検査の実施方法と活用についての理解を深め、特別支援教育にかかわる教職員の資質向上を図る。 						
総合評価	A	成果課題	特別支援教育相談は、年々増加の一途を辿っている。更には、巡回型通級指導の開始に伴い教育支援委員会の業務も増大しているため、担当指導主事が対応に追われている現状である。特別支援教育を充実させるためにも、体制強化を図っていききたい。				
方向性	拡充						

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	豊かなところと健やかな体							
事業 No.	20	事業名	いじめ・不登校等への対応			担当	指導課	
予算	当初	135 千円		決算	92 千円		執行率	68.15 %
事業目的	学校、地域及び関係機関の連携強化を図るとともに、いじめ、不登校、非行その他の問題行動や児童虐待等に関する情報及び意見交換を行うことでいじめ・不登校等に関する効果的な対策について検討・協議する。							
事業実績	① いじめ・不登校等問題対策委員会 学校、地域及び関係諸機関の連携強化を図るため開催。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回の開催。 ② いじめ重大事態発生時対策協議会 いじめ防止対策推進法第28条第1項に基づき、管内小中学校で発生したいじめの重大事態に対応。 ③ 教育相談員の派遣 各小中学校の要請に応じて派遣。 ④ いじめに関わるアンケート調査 年3回、すべての児童生徒を対象として実施。 ⑤ 児童生徒出席状況報告書 年3回、すべての児童生徒を対象に出席状況を調査・分析。							
総合評価	A	成果課題	いじめに関わるアンケートをきっかけに発見されるいじめは、毎回かなりの数が報告されており、日常の児童生徒観察や教育相談と併せて重要な機会となっている。いじめ重大事態は発生しなかったものの不登校の増加傾向が顕著であるため、今後も引き続き学校、地域及び関係機関の連携強化を図っていききたい。					
方向性	継続							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	豊かなところと健やかな体							
事業 No.	21	事業名	市生活指導協議会への補助			担当	指導課	
予算	当初	55 千円		決算	55 千円		執行率	100.00 %
事業目的	市内児童・生徒の健全育成につとめ、正しい生活指導を行うため相互の連携を密にし、その対策を協議する。							
事業実績	① 生徒指導に関わる情報交換 ② 第65回防犯野球・ソフトボール大会（7月31日実施） ・小学校野球の部 優勝：柏BBC 準優勝：ウエストエンゼルス ・中学校野球の部 優勝：木造中学校 準優勝：稲垣中学校 ・中学校ソフトボールの部 優勝：板柳中学校 準優勝：柏・木造中合同チーム ③ 会報「しんでん」の発行 ・防犯に関する作文や弁論を掲載し発行。 ④ 善行児童・生徒褒賞の表彰							
総合評価	A	成果課題	管内の生徒指導に関わり極めて重要な役割を果たしている市生活指導協議会に対し、必要な指導・助言を行いながら活動を補助することができた。今後も、学校・地域・関係機関の連携強化を図っていききたい。					
方向性	継続							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進				
重点項目	力量のある教職員				
事業 No.	22	事業名	教職員研修		指導課
予 算	当初	412 千円	決算	411 千円	執行率 99.76 %
事業目的	教職員の指導力と専門性向上のため各種研修会を実施する。				
事業実績	<p>① 学校教育活動支援員研修会（児童生徒への対応の基本。全2回。） 期日：4月1日 参加人数：3名 期日：8月17日 参加人数43名</p> <p>② 危機管理研修会（関係機関との連携） 期日：5月21日 参加人数：13名</p> <p>③ 授業改善研修会（算数の授業改善） 期日：8月2日 参加人数：14名</p> <p>④ 幼保小連携研修会（幼保小の連携の在り方） 期日：6月4日 参加人数：18名</p> <p>⑤ 児童・生徒指導要録の電子化に係る研修会（指導要録作成の手順。全2回。） 期日：4月12日 参加人数：12名 期日：1月7日 参加人数：22名</p> <p>⑥ ICT教育研究協議会（ICTを活用した効果的な授業づくり。全5回。） 期日：4月30日、5月7日、6月18日、10月8日、1月24日 各校1名参加。</p> <p>⑦ 教育相談員等研修会（相談活動、適応指導。全3回。） 期日：4月20日 参加者：5名 期日：10月13日 参加者：11名 3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>				
総合評価	B	成果課題	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、オンラインを活用するなどして研修機会を確保することができた。今後は、研修内容のさらなる充実を図っていきたい。		
方向性	継続	成果課題			

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進				
重点項目	力量のある教職員				
事業 No.	23	事業名	教員の研修活動への支援		指導課
予 算	当初	440 千円	決算	440 千円	執行率 100.00 %
事業目的	教員の研修活動を支援することで、教員一人一人の資質向上を図る。				
事業実績	<p>① 校内研修支援事業（240,000円） ・各校での研修会と教材研究に係る経費の一部を補助。</p> <p>② 市教育研究会への補助・支援（200,000円） 期日：7月26日 講師：秋田大学名誉教授 阿部 昇 氏</p> <p>③ 研究指定校への指導・支援</p>				
総合評価	B	成果課題	新型コロナウイルス感染症の影響で集合研修の実施はできなかったが、オンラインでの教育講演会を技術面等で支援することができた。		
方向性	継続	成果課題			

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	信頼される学校							
事業 No.	24	事業名	各小中学校運営協議会			担当	教育総務課	
予 算	当初	840 千円	決算	804 千円	執行率	95.71 %		
事業目的	保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実現するため、地域と学校の協働関係、信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む。							
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向陽小学校 6 名 ・ 穂波小学校 6 名 ・ 瑞穂小学校 6 名 ・ 森田小学校 6 名 ・ 柏 小学校 5 名 ・ 稲垣小学校 5 名 ・ 車力小学校 6 名 (1 名) <p>計 40 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造中学校 6 名 ・ 森田中学校 6 名 (1 名) ・ 柏 中学校 6 名 (2 名) ・ 稲垣中学校 6 名 (1 名) ・ 車力中学校 6 名 <p>計 30 名</p> <p>小中学校 合計 70 名</p> <p>※ () は、地方公務員</p>							
総合評価	B	成果課題	保護者、教員、地域住民、地域学校協働活動推進員が「地域や学校の課題」を共有し、討議する場であることから、この制度が定着するよう各学校に応じた、特色ある取組を推進する。					
方向性	継続							

施策分野	知・徳・体を育む教育の推進							
重点項目	信頼される学校							
事業 No.	25	事業名	学校評価			担当	指導課	
予 算	当初	— 千円	決算	— 千円	執行率	— %		
事業目的	管内の各学校が自校の教育活動や学校運営についての評価を行い改善策を講ずることによって、信頼される開かれた学校づくりに資するとともに、教育委員会が学校に必要な支援や措置を講ずるための資料とする。							
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ つがる市の学校教育指導の方針と重点に基づいた管内共通の視点から経営目標と計画を定め、目標の達成状況と改善の方向についてまとめる。 ・ 各校は、「学校評価表」を指導課に提出する。 							
総合評価	B	成果課題	今年度は、各校ともつがる市の三本柱を意識して評価項目を作成していたため、市全体としての評価を効果的に行うことができた。また、各校とも令和3年度に組織した学校運営協議会を活用しながら適切に学校評価を実施し、教育課程の編成にそれを生かしていた。					
方向性	継続							

施策分野	生涯学習とスポーツの振興					
重点項目	社会教育振興					
事業 No.	26	事業名	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成に関する事業		担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)
予算	当初	3,737 千円	決算	2,346 千円	執行率	62.78 %
事業目的	学習機会や情報提供を行い、家庭教育全般に関する支援と子育て支援者の人材育成を図る。					
事業実績	<p>①幼児、児童、生徒を持つ親を対象とした子育て支援事業</p> <p>(1)mama'sカフェ：クラフト展、子育てに関する情報交換等 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>(2)はっぴーすまいるラボ（発達障がいについての啓発事業） (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>(3)つながる！つがる笑顔まつり（地域交流イベント）→参加者：380人</p> <p>(4)つがる市ブックスタート事業 絵本購入 150冊</p> <p>②地域学校協働活動</p> <p>(1)令和3年度より始動し、本部会議、研修会及び意見交換会を各1回実施した。</p>					
総合評価	B	成果課題	子育て支援事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部イベント等を中止した。			
方向性	継続		地域学校協働活動については、意見交換会等を実施し、各学校の意見を受けて次年度に向けて改善していけるよう検討する。			

施策分野	生涯学習とスポーツの振興					
重点項目	社会教育振興					
事業 No.	27	事業名	青少年に関する事業		担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)
予算	当初	244 千円	決算	50 千円	執行率	20.49 %
事業目的	子ども会育成会及び子ども会活動全般への支援並びに地域の学習と、将来の職業体験等としてキャリア教育を推進し、リーダー的役割を担う青少年の人材育成を図る。					
事業実績	<p>①青少年活動の支援</p> <p>(1)市子ども会育成連絡協議会補助金 50,000円</p> <p>(2)市連合PTA補助金 0円（コロナにより活動自粛）</p> <p>②地域のリーダーの育成</p> <p>(1)未実施</p>					
総合評価	B	成果課題	青少年活動の支援について、市連合PTA連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛したが、市子ども会育成連絡協議会は概ね活動できた。地域リーダーの育成事業が未実施のため、実施に向けた計画の立案が必要となる。			
方向性	継続					

施策分野	生涯学習とスポーツの振興							
重点項目	社会教育振興							
事業 No.	28	事業名	成人一般に関する事業			担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)	
予 算	当初	670 千円		決算	583 千円		執行率	87.01 %
事業目的	市PTA等、多団体との連携を取りながら学習機会の拡充を図り、学習意欲を高め地域づくりへの参画の促進を図る。 社会教育関係団体の活動促進の支援と育成を図る。							
事業実績	<p>①市民講座・長寿大学（全6回） （1）高齢者一人ひとりが充実した日々を送るために必要な教養や生活能力を習得し、仲間づくりを進め、地域における自主的活動及び健康を維持することを目指して長寿大学を開催する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全6回のうち5回は午前と午後の分散開催とし、残る1回は中止とした。 市民講座では若い世代との連携を図り、自然・歴史・文化等についての学習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。</p> <p>②社会教育関係団体の育成 （1）登録団体数 2年度 87団体 → 3年度 91団体</p> <p>③成人式（対象者293名 参加者175名） （1）8月15日から12月26日に成人式の開催を延期し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りつつ、成人式を開催した。</p>							
総合評価	B	成果課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催することができ、学生からも喜ばれた。市民講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。社会教育団体の育成に関しては、前年度と比べ団体数が増加しているので今後も継続していきたい。成人式は当初日程より延期し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を取りつつ、開催することができ、成人者、保護者及び来賓者の方々も大いに満足する結果となったので、今後も継続していきたい。					
方向性	継続							

施策分野	生涯学習とスポーツの振興						
重点項目	社会教育振興						
事業 No.	29	事業名	図書館に関する事業			担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)
予算	当初	2,007 千円	決算	1,920 千円	執行率	95.67 %	
事業目的	市民の生涯にわたる読書習慣の定着に努め、特に子どもの読書の重要性について認識や理解を深めさせ、地域全体で子どもの読書習慣の定着に向けた環境づくりを進める。						
事業実績	<p>【図書館】</p> <p>(1)開館5周年記念イベント(参加者:119人)</p> <p>(2)つがる市立図書館運営基本計画作成 50部 77,000円</p> <p>(3)つがる市子供読書推進計画(第3次)作成 100部 99,000円</p> <p>【関係団体活動】</p> <p>①読書まつり</p> <p>(1)貸出セット30組、無料ブックコーティング及び大人のためのおはなし会等(参加者:延べ35人)</p> <p>②郷土学習講座</p> <p>(1)市民講師による講演会 10回中8回実施 委託料 100,000円</p> <p>③農業支援講座</p> <p>(1)放送大学青森学習センターとのコラボ 1回実施</p> <p>(2)農山漁村文化協会とのコラボ 1回実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p>						
総合評価	B	成果課題	読書まつりは、読書推進連絡協議会によって貸出セットの他に大人のためのおはなし会を新たな取り組みとして行えた。また、郷土学習講座についても、全講座は実施できなかったが、8回は実施できた。農業支援講座は、計画通りに実施できたので、今後も継続していきたい。				
方向性	継続						

施策分野	生涯学習とスポーツの振興						
重点項目	社会教育振興						
事業 No.	30	事業名	公民館事業			担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)
予算	当初	165 千円	決算	60 千円	執行率	36.36 %	
事業目的	教養や趣味等、多彩な分野に渡る学習機会の提供によって、学習意欲の醸成と公民館事業による仲間づくりから新たなグループ等の育成を図る。						
事業実績	<p>①各種講座・教室</p> <p>(1)稲垣、車力高齢者健康体操(参加者:延べ13人) 30,000円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全4回中2回実施)</p> <p>(2)寄せ植え教室(参加者:延べ19人) 30,000円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全3回中2回実施)</p> <p>(3)スキー、スノーボード講習会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>(4)森田公民館公開講座 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>(5)読み聞かせ教室 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p>						
総合評価	C	成果課題	各種講座・教室のうち、スキー・スノーボード講習会、森田公民館公開講座、読み聞かせ教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、健康体操、寄せ植え教室は概ね実施できたので、今後は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りつつ、事業を実施できるよう検討していく。				
方向性	継続						

施策分野	生涯学習とスポーツの振興							
重点項目	社会教育振興							
事業 No.	31	事業名	文化活動の振興			担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)	
予算	当初	2,073 千円		決算	1,612 千円		執行率	77.76 %
事業目的	文化発展の市功労者において活躍した市民の顕彰奨励、地域の人材を活用した小・中学校の文化活動の促進、市内の文化団体と連携した各種教室等を開催し、文化活動の振興を図る。							
事業実績	<p>①文化賞 記念品：16組25名 146,410円 (1)2月12日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息が見えず、中止となり、受賞者への記念品の贈与のみ行った。 青少年文化賞(個人)4名 青少年文化奨励賞(団体)1団体・(個人)12名</p> <p>②地域人材の活用 (1)市文化団体協議会補助金 1,040,000円 (2)市連合婦人会補助金 400,000円 (3)俳句の会開催補助金 0円 (コロナにより開催中止)</p> <p>③市民文化祭の開催 (1)新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、つがる市総合文化祭を実施した。(参加者数：約500人)</p>							
総合評価	B	成果課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、文化賞表彰式は中止となる中、新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、つがる市総合文化祭を実施することができた。次年度は新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、文化賞表彰式を開催できるよう検討していく。					
方向性	継続							

施策分野	生涯学習とスポーツの振興						
重点項目	社会スポーツ振興						
事業 No.	32	事業名	スポーツの振興			担当	社会教育文化課 (社会教育スポーツ課)
予算	当初	1,634,146 千円	決算	1,489,133 千円	執行率	91.13 %	
事業目的	生涯スポーツ及び市民スポーツの振興を図るとともに、スポーツイベントの開催や市民スポーツの支援など、スポーツ・レクリエーション活動の推進に努め、スポーツの振興を図る。						
事業実績	<p>①スポーツ賞顕彰 記念品：49組59名 221,000円 (1)2月12日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息が見えず、中止となり、受賞者への記念品の贈与のみ行った。</p> <p>②スポーツ団体と連携した各種大会 (一部中止) (1)市民スポーツ大会 参加人数：142名 種目・グランドゴルフ (10/10：59名) ・ニチレクボール (10/16：18名) ・剣道 (10/23：20名) ・ソフトバレー (11/14：33名) ・ゲートボール (11/21：12名)</p> <p>③総合体育館建設整備 (1) スポーツ振興の新たな拠点となる新体育館建設事業の促進を図った。 ・本体工事 1,440,000千円 ・外構工事 176,000千円 ・設計等 7,200千円</p> <p>④市体育協会への支援 (1) 加盟各団体の自主的かつ積極的な活動を支援し、市民スポーツの底辺の拡大と指導者育成、競技力の向上に努めた。</p>						
総合評価	A	成果課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、スポーツ賞表彰式及び各種大会等が中止となる中、県民駅伝、県民体育大会、市民マラソンはやむなく中止となったが、市民スポーツ大会は一部開催できた。総合体育館建設工事については、概ね予定通り進捗している。				
方向性	継続						

施策分野	生涯学習とスポーツの振興						
重点項目	社会スポーツ振興						
事業 No.	33	事業名	国民スポーツ大会			担当	国民スポーツ大会準備室
予算	当初	1,598 千円	決算	1,193 千円	執行率	74.66 %	
事業目的	令和8年開催予定の国民スポーツ大会に係る諸準備を推進する。						
事業実績	<p>①各種会議 (1)設立総会・第1回総会 期日：7月1日 (2)第1回常任委員会 期日：2月14日 (書面開催)</p> <p>②広報啓発事業 (1)広報用看板設置 (市庁舎正面玄関、松の館正面) (2)準備委員会ウェブサイト開設 (3)ノベルティ等の製作 (ポケットティッシュ、ボールペン、封筒)</p> <p>③県準備委員会、競技団体 (柔道、バレーボール) との連絡調整</p>						
総合評価	B	成果課題	設立総会・第1回総会 (令和3年7月) において、会則、委員及び役員、開催基本方針、令和3年度事業計画及び収支予算について承認をいただき事業を実施した。開催推進事業として、市庁舎及び松の館正面への看板設置、ウェブサイト開設、ポケットティッシュ、ボールペン等を製作し、広報啓発に努めた。				
方向性	継続		開催に向け引き続き関係団体等との連携を密にし、準備を進める。				

施策分野	文化の薫り高いまちづくり					
重点項目	文化財・伝統文化の保護活用					
事業 No.	34	事業名	埋蔵文化財保護・調査事業		担当	社会教育文化課 (文化財課)
予算	当初	4,188 千円	決算	2,685 千円	執行率	64.11 %
事業目的	各種開発計画との調整を図りながら遺跡の現状保存に努めつつ、開発により破壊される遺跡については発掘調査を実施し記録保存に努め、文化財の保護・活用を図る。					
事業実績	<p>①開発計画に対応した試掘調査・協議</p> <p>(1)周知の埋蔵文化財包蔵地での試掘調査及び基礎的整理を実施する。 調査箇所 1箇所 66,000円</p> <p>(2)特定景観地域及び一般景観地域等における各種開発について景観の保護、保全を目的に調査、協議を実施する。 調査箇所 0箇所 協議件数 4件</p> <p>②遺跡の発掘調査</p> <p>(1)竹鼻(3)遺跡の発掘調査</p> <p>1)土砂採取計画地について、記録保存のために実施した本発掘調査の整理作業を行い報告書を刊行する。 ・整理作業員人(延べ:127人)・整理用機材賃借料等 ・発掘調査報告書印刷製本費 2,184,322円</p> <p>(2)館岡屏風山(1)遺跡の発掘調査</p> <p>1)土砂採取計画地について、記録保存のために実施した本発掘調査の整理作業を行う。 ・整理作業員人(延べ:69人) 433,734円</p>					
総合評価	B	成果課題	土砂採取事業に伴い破壊される遺跡に対し、記録保存のための適切な整理作業及び報告書作成を実施することができた。景観の保護、保全では事前協議を実施し、景観に及ぼす影響を軽減することができた。			
方向性	継続	課題				

施策分野	文化の薫り高いまちづくり					
重点項目	文化財・伝統文化の保護活用					
事業 No.	35	事業名	史跡整備事業		担当	社会教育文化課 (文化財課)
予算	当初	59,937 千円	決算	55,768 千円	執行率	93.04 %
事業目的	史跡亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の公有化事業を継続しつつ、史跡の整備に向けた内容確認調査を実施し、その適正な保存管理・活用を図る。					
事業実績	<p>①史跡田小屋野貝塚の公有化</p> <p>・山林、農地、宅地等10筆約10,289㎡を買上して公有化し、史跡の保存管理に努めた。 46,838,829円</p> <p>②史跡亀ヶ岡石器時代遺跡の内容確認調査</p> <p>整備に向けた情報収集を目的として内容確認調査を実施した。 ・発掘作業員人(延べ:722人) ・発掘用重機及び整理用機材賃借料等 5,255,747円</p> <p>③史跡関連整備</p> <p>・縄文案内所管理業務 297,000円 ・史跡地基準点測量業務 1,298,000円 ・史跡地内支障木伐採業務 1,705,000円 ・史跡地説明看板作成業務 374,000円</p>					
総合評価	A	成果課題	田小屋野貝塚を公有化し、史跡の保存管理を進めることができた。亀ヶ岡石器時代遺跡の内容確認調査実施により、整備に向けた新たな情報が得られると共にその価値を情報発信できた。			
方向性	継続	課題				

施策分野	文化の薫り高いまちづくり					
重点項目	文化財調査、保護、活用事業					
事業 No.	36	事業名	文化財調査、保護、活用事業		担当	社会教育文化課 (文化財課)
予算	当初	1,845 千円	決算	1,399 千円	執行率	75.83 %
事業目的	市内に所在する指定・未指定の各種文化財を調査し、その保護活用を図る。					
事業実績	<p>①指定文化財等の調査・保存・活用</p> <p>(1)古木等保存管理</p> <p>1)古木保存管理 331,100円</p> <p>2)チェスボロー号の梨の木診断治療 190,300円</p> <p>(2)木作代官所・御仮屋説明看板設置 1ヶ所 380,600円</p> <p>②伝統芸能フェスタの開催等</p> <p>(1)伝統芸能伝承保存活動事業 496,460円</p> <p>③小・中学生及び高校生を対象とした文化財を活用した出前講座の実施</p> <p>(1)計6校に対し出前講座を実施した</p>					
総合評価	B	成果課題	市指定文化財及び未指定の文化財に対しては適切な保存管理を行いつつ、説明看板の設置や出前授業の実施等により活用を図ることができた。			
方向性	継続					

施策分野	文化の薫り高いまちづくり					
重点項目	文化財・伝統文化の保護活用					
事業 No.	37	事業名	世界遺産登録推進事業		担当	社会教育文化課 (文化財課)
予算	当初	6,994 千円	決算	6,615 千円	執行率	94.58 %
事業目的	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を実現し、その価値や特徴を市内外に情報発信することにより文化財の保護活用を図る。					
事業実績	<p>①「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組の推進</p> <p>・世界遺産登録推進事業負担金 1,460,000円</p> <p>②業務委託による情報発信の強化</p> <p>・NPO法人世界遺産登録情報発信業務 1,234,200円</p> <p>・世界遺産委員会パブリックビューイング運営業務 1,199,000円</p> <p>・世界遺産登録記念イベント運営支援業務 2,607,000円</p> <p>③遺跡ボランティアガイド</p> <p>(1)土日祝日に常駐し、来訪者に遺跡の案内、説明を行った。 113,649円</p>					
総合評価	A	成果課題	世界文化遺産の登録決定を受けて、縄文遺跡群の価値を発信し、かつ登録を市民と共に祝うための各種イベントを実施することができた。増加する遺跡来訪者に対しては遺跡ボランティアガイドがきめ細かに対応し、受入態勢の強化に効果的であった。			
方向性	継続					

教育委員会事務の点検・評価に対する意見

学識経験者 中 畑 耕 一
佐々木 喜代子
三 上 みつる
盛 恒 博

「教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和3年度分）」について

「教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和3年度分）」については、教育委員会の取組を客観的に把握し、成果と課題を整理して取組の改善につなげ、より効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすことを目的として作成されるべきものである。

この報告書では、教育委員会の権限に属する主要な施策や事務事業について、具体的な取組内容と取組実績から、効果・効率性を自ら点検評価し、成果と課題が整理されたうえで、それぞれの取組の方向性が4段階で示されていることから、「適当である。」と判断する。

教育委員会では、昨今の少子高齢化と人口減少、コロナ禍にはじまる社会経済情勢の変化を見据え、取組むべき事業の成果と課題を本アドバイザー会議の意見のもと明らかにし、より効果的な教育行政の推進により掲げる教育目標の達成に前向きに取り組んでいただきたい。

コロナ禍でめまぐるしく社会情勢が変化する今日に於いては、事業計画時と実施時では状況が大きく変わっていることが多々ある現状、時には立ち止まり計画を見直すことも必要である。

なお、教育委員会教育目標3項目に係る意見については、次に示すので参考にしていただきたい。

教育委員会教育目標 3 項目

1 知・徳・体を育む教育の推進

重点項目 安全・安心な教育環境の整備

・主要事業 学校施設の整備

- No. 1 1) 少子高齢化にある現状を踏まえ、学校の統廃合も視野に入れ、長寿命化を図ることが必要である。
2) コロナ禍によりめまぐるしく変化する生活環境のなか、蛇口の自動水栓化、トイレの洋式化等、学校施設の環境改善を望む。

・主要事業 学校用図書備品整備

- No. 3 使えない古い本をカウントして充足率が満たされている。古い本の廃棄処分を徹底しておこなった上で新たな本を整備して充足率の向上を図ること。

・主要事業 教育資金利子補給事業

- No. 6 所得制限廃止を検討するなど、事業申請する保護者が減少傾向にあるその要因を究明し、利用しやすいよう制度運用を工夫する必要がある。

・主要事業 日本スポーツ振興センター事業

- No. 10 学校内でのケガにより同センターから受ける保険給付について、保護者の手続き簡素化が図られるよう検討すること。

・主要事業 学校給食運営事業

- No. 12 地元食材を使った学校給食を推進し、食育の充実を図ること。

重点項目 確かな学力

・主要事業 スクールサポーター配置

- No. 13 特別な支援を要する児童生徒が年々増加傾向にあることから、必要性を見極め適正な配置に努められたい。

重点項目 豊かなこころと健やかな体

・主要事業 特別支援教育の充実

- No. 19 特別な支援を要する児童生徒が増える傾向にあるなか、支援アドバイザーを配する等、巡回型指導教室を行うため、必要により体制強化を図られたい。

2 生涯学習とスポーツの振興

重点項目 社会教育振興

・主要事業 成人一般に関する事業

- No. 28 前例踏襲により新成人が一堂に会して行う式典の開催方法について、コロナ禍を契機に何かしらの方向転換が必要である。

・主要事業 公民館事業

- No. 30 1) 公民館事業について、既存事業にとらわれ前々から同じことを繰り返すのではなく、人口減少、地域の変化、公民館の役割により見直が必要である。
2) 公民館に社会教育主事の配置を望む。

3 文化の香り高いまちづくり

重点項目 文化財・伝統文化の保護活用

・主要事業 史跡整備事業

- No. 35 遺跡発掘の調査結果について、準備が整い次第、速やかな公表を望む。

・主要事業 世界遺産登録推進事業

- No. 37 世界遺産登録になった以上、遺跡ボランティアガイドにも責任を持って頂きたいため、組織のあり方を見直すこと。